

II 医療AIのための人材育成の現状と展望

特集
医療AI
の普及拡大と
さらなる展開

3. 岡山大学における医療AI人材育成プロジェクトの取り組み

谷岡 真樹 岡山大学学術研究院医歯薬学域AI人材養成産学協働プロジェクト

多様性

2021年に文部科学省「保健医療分野におけるAI研究開発加速に向けた人材養成産学協働プロジェクト」に採択され、東北大学、北海道大学、岡山大学の3大学が保健医療分野の課題に関するAIを用いた研究開発を行う人材育成教育拠点を樹立し、1年半が経過した。岡山大学医療AIプロジェクト (<https://clinicalai.hsc.okayama-u.ac.jp/>) では、複数の学部教員による多様な指導チームが、さまざまな診療科に所属する多様な大学院生の多様なAI課題を支援する「多様性」が特徴である。本稿では、岡

山大学医療AIプロジェクトの概要に加えて、企業やデータサイエンス(DS)部 (<https://okadai-dsc.studio.site/>) と行う独自の共同研究、一般社会へのAI教育普及の取り組みを紹介する。

多様な指導教員

岡山大学の体制として、医療系学部・研究科だけでなく、工学部を中心とした学部横断的なAI・データサイエンスの研究組織「Cypher(サイバーフィジカル情報応用研究コア)」, AI・IoT・セキュリティ関連技術分野で共同研究をめざす企業と大学研究者などからなる「OASIS(おかやまAI・セキュアIoT共

創コンソーシアム)」の教員が運営委員会に参加している(図1 a)。運営委員会では予算執行、事業進捗管理のほか、教員、大学院生が研究紹介を行い、議論する場としている(図1 b)。

また、東北大学、北海道大学と合同で、デザイン思考、コーチングの研修を定期的に行いながら、互いの施設を訪問するサイトビジットを行っている(図1 c)。さらに、毎年秋に合同シンポジウムを、毎年冬にアニュアルシンポジウムを行い、大学院生の発表について議論し、かつ各大学を代表するAI研究者の講演を行っている(図1 c)。



図1 多様な運営チーム

a: 学部横断的な定例運営会議参加者 (赤字は医療系学部・研究科以外の教員), b: 定例運営会議における研究紹介, c: 東北大学、北海道大学との交流